

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-023

PDCA	事務事業名	部課等名	市民経済部 経済課 商工担当	担当	竹内		
	はんだふれあい産業まつり 開催事業			内線等	321		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 4. 商工業・サービス業 単位施策： (2) 接続可能な商業の振興 個別施策： ①魅力ある個店づくり					
	根拠法令等	-					
	対象・目的	はんだふれあい産業まつりを開催することで、地元農業、工業、商業者の活動をPRし、産業振興に寄与する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・はんだふれあい産業まつり実行委員会への補助 ・実行委員会と協働で、市内事業者を中心に来店者を募集 ・産業まつりの開催PRのためのポスター、チラシを作成					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①PRチラシ印刷数	-	42100	43,100		
		②PRポスター印刷数	-	400	400		
		③					
		事業費	1,000	5000	5,000		
	人件費	317	2498	1,863			
	総事業費	1,317	7,498	6,863			
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	①PRチラシ印刷コスト	-	170960	184,831			
	②PRポスター印刷コスト	-	69120	70,070			
③							
成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位		
	①はんだふれあい産業まつり来場者数	実績値	21,000	43,000	42,000		
		目標値	21,000	41,000	43,000		
	②	実績値					
		目標値					
③	実績値						
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
事業の評価・課題	B 地域とのふれあい・地域消費の促進と健全な産業育成を推進する目的で「ふれあい産業まつり」を開催した。両日とも天候に恵まれ、地元アイドルの協力もあり、盛大に開催し、多くの来場者に半田市の産業を紹介することができた。また、地元商業、工業、農業者の積極的な活動がメディア等でも取り上げられ広くPRできた。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 各産業関係者で構成される実行委員会において、今までにない新しい企画を積極的に取り入れてもらう中で、今まで以上に地産地消や産業振興を図るとともに、地元農業、商業、工業の団体へさらなる参加を呼びかけ、地元の産業活動を重点的にPRする。					
	令和2年度の目標		目標値	単位			
		①はんだふれあい産業まつり来場者数		43000			